



「一歩前に」

令和3年11月8日（月）

文責 校長 田尻 透

「おやじの会」の皆さんに、草刈りをしてもらいました。



（作業前）



（作業後）

●昨日7日（日）午前中に、本校PTA役員のOB組織である「おやじの会」の有志の方々7人に集まっていただき、校舎裏の斜面にある看板周辺の木の伐採をしていただきました。

●本校は、ご存じのとおり校地が特に広く、環境を維持、整備するのはとても大変です。学校だけでは管理が行き届かず、毎年2回（今年はコロナ禍で1回）、親子美化作業で環境整備をお願いしているところですが、写真にある場所は、フェンスの外が崖になっていて、とても危険でなかなか手が出せないところでした。

●お陰様で、これまで下の道路からは見えなかった「稜南中学校」の文字がはっきり見えるようになり、私も自信がみなぎるとともにとても誇らしい気持ちになりました。皆様も気に留めていただき、周辺を通られる際には学校方面を見上げ、一度ご覧いただきたいと思います。

●このことを受け、改めて学校は地域の方々に支えられていることを実感いたします。新型コロナの勢いも衰えを見せ始めていますので、少しずつ学校と地域の方々との双方の交流を計画していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

あいさつ標語の「のぼり旗」です。



●これは、職員玄関にある靴箱の上に置かれた、「のぼり旗」のミニチュアです。毎年、楠浦地区振興会子ども育成部会の皆さんが、あいさつの標語を募集され、その入選作品を「のぼり旗」にして学校に寄贈いただいております。

●実寸大のものは、生徒玄関に置かれ生徒の登下校を見守っております。年度はじめに比べると、生徒のあいさつも声が出るようになってきました。地域の方々からも「あいさつしてくれて嬉しかった」とのお言葉をいただくこともあります。

●あいさつをすることで、人間関係が始まります。この「のぼり旗」を有効に活用し、生徒のあいさつへの意識を高めていきたいと思えます。

共通テストが終わりました。

●今月1日（月）、2日（火）に共通テストが実施されました。私たち大人が中学生の頃から行われているテストですが、今年から、正式に年1回の実施となりました。昔と比べると、入試制度もずいぶん変わり、時代に合わせた実施となったようです。

●とはいえ、県下の中学生にとって共通テストは、受験への意識を高めるために依然重要なものに変わりはありません。現時点での学力の確認、志望校選択の判断材料となっています。

●今年は、受験が昨年より1週間ほど前倒しになっています。同じく学校現場でも三者面談や受験指導が早まっています。この傾向は、来年度以降も続く可能性があります。1，2年生についてはまだ先のことですが、3年生の姿を紹介しながら、人生初の進路選択について考えてもらいたいと思っています。